

鶴見区区政会議 令和元年度第3回こども教育部会議事録（要旨）

1 日 時 令和元年12月16日（月） 19時00分～20時33分

2 場 所 鶴見区役所 4階403・404会議室

3 出席者

（委員）

山口部会長、鎮西副部会長、一ノ谷委員、梶委員、野口委員、森田委員、米島委員

（区役所）

中村教育担当課長、松井子育て支援・保健担当課長、大川教育担当課長代理、市橋子育て支援担当課長代理、仲田総務課担当係長、千葉総務課担当係長、藤本保健福祉課担当係長、泉谷保健福祉課担当係長

4 議 題

- 1 令和2年度鶴見区運営方針（素案）について
- 2 区政会議における主な意見の進捗状況について
- 3 その他

5 議 事

（1） 区政会議委員自己紹介

（2） 区役所側自己紹介

（3） 部会長、副部会長選出

（4） ・令和2年度鶴見区運営方針（素案）について
・区政会議における主な意見の進捗状況について
（安心して子育てできる環境づくり）

➤ 委員からの質問・意見等

- 環境局主催の「ごみ減量フェスティバルINつるみ」の開催時、おむつ替えスペースや授乳室の設置がなかった。関係機関との連携の中で設置に向けた要望をしてほしい。
- 重大な虐待ゼロに向けた体制の充実により専門職を配備するとあるが、何名程度配置されているのか。

- 現在は、臨床心理士 1 名、保育士 2 名、栄養士 1 名、保健師 9 名、家庭児童相談員 2 名を配置し相談や対応にあたっているが、令和 2 年 4 月に更に臨床心理士 1 名および保育士 1 名、保健師 1 名を配置し体制強化を図る予定である。
 - 昨年、拡大子育て支援連絡会に出席したが、大変いい取組みで、関係機関と連携を深めることができた。
 - 鶴見区における重大虐待や虐待の件数を教えてほしい。
 - 昨年度、今年度とも重大虐待は 0 件である。また、虐待として相談を受けた件数は、昨年度で 130 件程である。
 - 要保護児童対策地域協議会への登録児童のうちステップファミリーが占める割合はどの程度なのか。
 - 2 割程である。
- ・ 令和 2 年度鶴見区運営方針（素案）について
 - ・ 区政会議における主な意見の進捗状況について
（まなびを通じたつながりづくり）
（学校教育の支援）
 - 委員からの質問・意見等
 - 学校協議会への参加とあるが、学校協議会の委員に現役の保護者が少ない。もう少し現役の保護者を増やすような取組みが必要だと思う。
 - 来年度から実施される「つるみまなびのわか」の受付や連絡体制について教えてほしい。
 - 教育委員会が実施しているインストラクターバンクの鶴見区版というイメージである。
 - 現在 7 区で実施されている「こどもサポートネット事業」が来年度から全区展開になると聞いているが、状況はどうか。
 - 令和 2 年 4 月から鶴見区においても事業を開始する予定である。
 - 中学校にはスクールカウンセラーが配置されているが、茨田北小学校には配置がない。スクールカウンセラーを中学校から小学校に派遣するなど、もっと便利になればと思う。
 - こどもの居場所づくりの取組みはどのように進めているのか。
 - 区内 7 か所で取り組まれているこども食堂などを紹介している。また、「こどもの居場所づくりネットワーク会議」を開催し、事業者間の状況共有、連携を図っている。
 - こども食堂やこどもの居場所の周知はきちんと行われているのか。
 - インターネットで検索ができる。また、チラシを作成し小学校の児

童全員に配布したり、ポスターを掲示している事業者もある。

- 「元気アップ事業」を活用し、不登校のこどもの支援を行っている学校がある。
- 11月23日、30日に不登校を考える連続講座が開催された。そこで出会った不登校のこどもの保護者から、同じ立場の保護者が集まって話をする場がほしいとの話が出ていた。
 - 講師からは、行政ではなく区民主導で動いてほしい、行政はそれに対する支援を行うことが一番望ましいとの話があった。

(5) 事務連絡